

平成 29 年度

事業報告書



社会福祉法人 成和会

特別養護老人ホーム 菊水苑

特別養護老人ホーム 喜志菊水苑

小規模多機能・グループホーム 菊水苑喜志の郷

菊水苑ケアサポートセンター

I. 総括

【特養事業】

特養事業では、法人の理念である『和顔愛語』を実現するためには、職員の質の向上が不可欠と考え、職員教育の充実を図った。例年同様、毎月の職員研修をはじめ、経営コンサルタントによる新人教育や中堅・指導者への教育、社協等主催の外部研修への参加、また、外部研修の伝達研修、必要に応じて専門機関を事業所に招いての研修等を行った。

ケアの方針については、より一層の個別的ケアを行えるよう、各部署が協働してケアプランの作成を行い、提供している。また、介護保険の基本的理念である「利用者の尊厳の保持」を具体化し、最期まで寄り添い、終の棲家としての機能を充実させるよう、看取りケアの実践を行った。

経営面に関しては、両施設ともロングショートと一体的に稼働率確保を推進しており、一定の成果は出てきている。

今後の取り組みとしては、入院者数の減少を図るため、機能訓練（リハビリ）の充実による身体機能の維持、嚥下体操・口腔ケアによる嚥下機能の維持に努めており、継続していく。おむつO運動を継続し、利用者のQOLの向上に努める。また、職員の確保に関しては2025年問題を見据え、外国人の受入れを積極的に行っていく。

【通所事業】

通所事業では、両施設とも全体的に利用顧客が減少している。課題として、同地区他施設との差別化を図る必要があると考え、日常のレクリエーションの充実を行った。また、希望の多い入浴業務に関しては、同性介護を必須とし、安心して入浴が出来ること好評をいただいた。さらには、「時間短縮」の利用者や「入浴のみ」の利用者も積極的に受入れ、顧客数の確保を目指している。

実務面に関しては、顧客獲得のため、外部事業所へ定期的に訪問を行い、「断らないデイ・断らないサービス」を実践している。また、ショートステイ事業やヘルパー事業とも連携を取りながら、在宅部門一体となり、一貫したサービスの確立に努めている。

【ケアマネ事業】

在宅ケアマネ事業では、地域に根差した活動が出来るには、ケアマネの質の向上が必要と考え、サービス向上委員会、地域貢献委員会、実務効率化委員会の各委員会のそれぞれの活動の充実を図った。また、定期的に家族説明会を開催し、介護保険の内容について地域住民の方に分かりやすく慣れ親しんで頂け

るような活動を行っている。

実務面に関して、他部署の窓口業務としての機能が果たせるよう、在宅部門
 関係会議を立ち上げ、在宅部門間での情報の共有を図っている。

【ヘルパー事業】

ヘルパー事業では、顧客の状況及び重度化に応じて、デイサービス、ショ
 ートステイにつなげており、法人の窓口としての機能は果たせた。

今後の課題は、例年同様、人手不足と職員の高齢化で、次世代への移行も視
 野に入れた職員配置を検討する必要がある、他部署の余剰職員の兼務も検討し
 ながら対応していく。

【グループホーム・小規模多機能事業】

グループホーム事業では退居者は少なく、入居率は安定的に推移してきたが、
 年度の後半になり入院される利用者が増えてきて実質の利用状況はやや低下し
 てきた。また、入居者の重度化が進んでおり、車椅子利用の方や食事・排泄・
 入浴での全介助が必要な方が前年度よりも増えてきている。今後は新規入居者
 を獲得しながら、重度者の特養への転換を行う必要性が高くなってきている。

小規模多機能事業においては、地域の居宅介護事業所における小規模多機能
 事業の内容が理解されつつあり、当法人以外からの紹介も少しずつ件数が増え
 てきている。しかし、認知症の進行や疾病の悪化から登録を廃止されている利
 用者もこれまで通りであることで、実質登録者数が伸びない状態が続いている。
 今後の課題としては認知症予防や健康管理を重点的に行い、登録廃止数を減ら
 すことで登録者の伸びにつなげていきたい。

II. 実 績 報 告

【稼働率状況】

		稼働率【目標】	稼働率【実績】	達成率	状況
菊水苑	介護老人福祉施設事業	97.00	97.86	100.89	入院者が減少した。
	短期入所生活介護事業	75.00	87.11	116.15	安定した稼働率を維持出来た。
	通所介護事業	53.00	60.77	114.66	9月頃より新規の依頼が増加し、利用廃止の人数も少なく年度後半の稼働率上昇に繋がった。
喜志菊水苑	介護老人福祉施設事業	99.00	98.92	99.92	長期に入院される方がおり、稼働率の低下につながった。退所に関しては、90%の方が看取りを行った。
	短期入所生活介護事業	85.00	76.56	90.07	引き続きロングショートの確保を行い、稼働率の安定を図っている。
	通所介護事業	60.50	61.56	101.75	ショート・ヘルパーと連携しながら、新規利用者の確保を行う事で、稼働率の安定に繋がった。
菊水苑喜志の郷	グループホーム事業	99.08	88.40	89.22	例年よりも入退居者が多く、また入院される方も多いため、稼働率の確保が出来なかった。

【収入状況】

平成29年度収入状況【平成29年度当初予算に対する比較】

	実施事業	期初予算	実績金額	対予算額	達成率
菊水苑	介護老人福祉施設事業	312,378,000	320,598,886	8,220,886	102.63%
	短期入所生活介護事業	40,031,000	43,497,345	3,466,345	108.66%
	通所介護事業	30,089,000	34,376,838	4,287,838	114.25%
	居宅介護支援事業	15,197,000	16,328,545	1,131,545	107.45%
喜志菊水苑	介護老人福祉施設事業	436,822,000	427,691,866	▲ 9,130,134	97.91%
	短期入所生活介護事業	68,764,747	64,241,092	▲ 4,523,655	93.42%
	通所介護事業	54,705,000	55,884,507	1,179,507	102.16%
	訪問介護事業	20,986,722	21,712,371	725,649	103.46%
	ケアプランセンター事業	21,987,300	22,009,219	21,919	100.10%
菊水苑喜志の郷	小規模多機能型事業	51,390,000	43,075,500	▲ 8,314,500	83.82%
	グループホーム事業	89,601,000	80,033,325	▲ 9,567,675	89.32%
菊水苑富田林ケアサポートセンター	ケアプランセンター事業	16,659,000	21,450,587	4,791,587	128.76%

事業別状況

介護老人福祉施設事業	749,200,000	748,290,752	▲ 909,248	99.88%
短期入所生活介護事業	108,795,747	107,738,437	▲ 1,057,310	99.03%
通所介護事業	84,794,000	90,261,345	5,467,345	106.45%
訪問介護事業	20,986,722	21,712,371	725,649	103.46%
居宅介護支援事業	53,843,300	59,788,351	5,945,051	111.04%
小規模多機能事業	51,390,000	43,075,500	▲ 8,314,500	83.82%
グループホーム事業	89,601,000	80,033,325	▲ 9,567,675	89.32%

平成 29 度事業報告書

☆菊水苑実績報告

【 入所者の介護状況と介護度について 】

入所者の方のうち、約 86%の方が、自力での歩行不能の方となっている。食事では、全介助の必要な方が約 14%、入浴で全介助の方が約 65%、排せつでは、約 44%の方が、オムツ対応となっている。

介護度でみると、平均介護度は、男性 3.78、女性 4.03 計 3.90 で、前年の平均介護度と比較して、マイナス 0.13 となっている。

【 入所者の入退所・入退院・空きベッド状況について 】

平成 29 年度の入退所の状況は、入所者 20 名、退所者 18 名で推移した。入所者の内訳は、在宅からの入所者が 16 名、病院から 1 名、他施設から 3 名となっている。退所者の内訳は、ご逝去された方が 16 名、長期入院のため契約解除した方が 2 名、他施設へ移行した方が 0 名の計 18 名であった。

入院者数は、1 ヶ月の平均延べ人数は 2 名で、1 ヶ月の平均延べ入院日数は、48 日、1 名あたりの平均入院日数は、24 日、また、1 ヶ月の入退間の平均日数は、2.9 日であった。

稼働率は、目標の 97.00%を上回り、97.86% (+0.86%) であった。

【 行事について 】

主な行事実施及び参加者については、別紙に記載しているとおりである。季節毎に変化のある、行事を実施し、また、地域のボランティアとの交流機会を設け地域との交流場作りに努めています。恒例となっている、8 月の納涼盆踊り大会も地域の皆様に喜ばれ益々盛況となっております。

【 行事食について 】

行事食は日本のイベントに合わせ季節を感じられるメニューの提供を行い、毎月、15 日には「いいご飯の日」、月末には、お楽しみメニュー、バイキング形式で行われる「面前提供」を提供し、食のイベントを演出する事により、身近な「食」を生活の「楽しみ」として感じて頂ける様、配慮させて頂き、入所者様や利用者様からも好評です。

【 短期入所に関する報告 】

総床数 4,745 床 (13 床×365 日) に対し、稼働床数は、4158 床で、平均稼働率は、87.85%でした。昨年の平均稼働率 77%に比べ 10.85%上回

る。

昨年度の傾向としては、ロングショートの利用者を増加させかつ、稼働率の安定させた事が客単価の上昇に繋がる。

【 デイサービスに関する報告 】

平成 29年度の新規登録者数は31名と昨年の21名に比べ10名増加し、施設入所やご逝去等での登録廃止者11名は昨年の12名に比べ1名減少した。年間延べ利用者数では、4,688名と昨年の延べ利用者数4,030名に対し増加した。平成29年度は、目標稼働率の53.00%を上回り、60.77%であった。利用者の方をみると、要介護3以上の利用者数が23.40%で、前年の22.43%に比べると要介護度の高い割合が少しながら上昇しているが、年度末に向けて介護度の低い割合の増加している。

【 居宅介護支援事業に関する報告 】

平成 29年度月平均ケアプラン数は、81.2件、予防35.8件でした。認定調査は、月約4.8件で推移している。売上目標に関しては、¥15,196,700に対して、¥16,328,545となっている。

【 在宅介護支援センター業務に関する報告 】

相談者の件数は4件。相談のあった曜日別は、平日計4件、土・日・祝計0件。相談に対する対応方法は、訪問により説明を行うケースが半数であった。相談内容としては、介護保険に関する事が殆どであった。

☆喜志菊水苑実績報告

【 入所者の介護状況と介護度について 】

入所者の方のうち、53%の方が、自力での歩行不能の方となっている。食事では、全介助の必要な方が約 25%、入浴で全介助の方が約 33%、排せつでは、約 64%の方が、何らかのオムツ対応となっている。

介護度でみると、平均介護度は、男性 4.17、女性 4.27 計 4.25 で、前年の平均介護度 4.18 に対し、若干介護の必要性の高い人が増えている。

【 入所者の入退所・入退院・空きベッド状況について 】

平成 29 年度の入退所の状況は、入所者 20 名、退所者 20 名で推移した。入所者の内訳は、在宅からの入所者が 8 名、病院から退院後入所された方が 7 名、他施設（老健・療養型）から入所された方が 5 名の計 20 名。退所者の内訳は、ご逝去された方が 18 名、長期入院のため契約解除した方が 1 名、他施設へ転居された方が 1 名の計 20 名であった。

入院者数は、1 ヶ月の平均延べ人数は、4.66 名で、1 ヶ月の平均延べ入院日数は、32.5 日、1 名あたりの平均入院日数は、6.96 日、また、1 ヶ月の入退間の平均日数は、0 日であった。

稼働率は、目標の 99.00% に対し、98.92% で推移した。

【 行事について 】

主な行事実施及び参加者については、別紙に記載しているとおりである。特に好評を頂いているのは、春のお花見行事と夏に開催される夏祭り大会で、夏祭りには、ほとんどの家族と一緒に参加され、盆踊りの音楽を聞きながら、様々な屋台を楽しんで頂いている。また、日常のレクリエーションの一環として、地域とのつながりを感じて頂くため、近隣のスーパーにお買物に出かけたりしている。

【 行事食について 】

特に 11 月～3 月にかけて月 1 回行う鍋物デーが好評で、普段なかなか食事が進まない方も『おいしい』と率先して食べられている。また、皆様の前で調理をし、そのまま提供する面前提供では、『作りたては違う。』とおかわりをされる方も多く見られた。面前提供での人気メニューは、『握り寿司』で、お寿司カウンターを作り、握りたてのお寿司を利用者様に提供させて頂き、皆様に喜んで頂いた。

このほか、敬老祝会では、前年同様バイキング方式による祝い膳の提供を行った。お寿司、お刺身、焼肉、フルーツ等皆様に人気の食材が並び、大盛況であった。

おやつでは、たこ焼きデーの日が皆様に喜んで頂いている。また、たこ焼きデーのない月の『手作りおやつ』の日も出来立てが食べられると人気が高い。

また、年度末より、入所者様の誕生日当日ケーキを職員が作って、家族様・他の入所者様と一緒に祝いながら提供している。

【 デイサービスに関する報告 】

平成 29 年度は売上目標¥54,705,000-に対し、売上¥55,884,507-で推移し、予算に対して¥1,179,507-上乗せする事が出来た。平成 28 年度の平均稼働率が 57.13%に対し、平成 29 年度の平均稼働率が 61.59%となったことが要因である。平成 27 年度より取り組んできた「併設型の大型施設で尚且つ柔軟で迅速な対応が出来る施設」というコンセプトのもと活動してきた事がようやく形となり、他事業所ケアプランセンター・ケアマネに認知されてきている。

新規獲得は、平成 28 年度 32 名、平成 29 年度 18 名となっている。また、既存の利用者様に対して働きかけ、曜日追加や、時短利用から通常時間の利用への変更を行うことで、稼働率や売上の増加に繋がった

【 短期入所に関する報告 】

総床数 7,300 床（20 床×365 日）に対し、稼働床数は、5,589 床で、平均稼働率は、76.56%であった。昨年の平均稼働率 83.12%に比べ、減少している。ロングショートの方の割合を多くして稼働率の安定を図っているが、特養の入退所に影響を受ける事があり、特に 4 月、1 月の稼働率の低下が大きく影響した。

【 ヘルパーに関する報告 】

ヘルパー事業に関しては、29 年度の目標売上¥20,986,722-に対し、¥21,712,371-であった。ヘルパー 1 名退職してからの補充が行えておらず、予算は達成したが、なかなか大きく売上を伸ばすことは出来ていない。

29 年度は、短期間の利用ではあるが、ターミナルの利用者の訪問が入ってくるようになり、身体介護の利用がわずかではあるが増えた。また利用者を、ショートステイやデイサービス、特養入所へとつなげ、法人の窓口としての機能を果たしている。

【 居宅支援事業に関する報告 】

平成 29 年度月平均ケアプラン数は、105.8 件、予防 46.1 件であった。認定調査は、月約 6.6 件で推移している。売上に関しては、¥21,987,300-に対して、¥22,009,219-となっている。前年度は、職員の異動があり、件数が安定しなかったが、29 年度は、新規の利用者様を確保する事が出来、予算を達成することが出来た。

【 在宅介護支援センター業務に関する報告 】

相談者の件数であるが、高齢者 139 件、障害者 0 件、その他の方 5 名であった。その他の方の内訳は、母子家庭の方の相談であった。相談の曜日別として、平日計 128 件、土・日・祝計 16 件であった。相談の主な方法は、電話による相談であった。相談内容としては、介護保険に関すること及びそれに伴う家庭・生活に関することがほとんどであった。

また、開催した介護予防教室の回数は、13 回であった。

以上

☆菊水苑喜志の郷実績報告

☆グループホーム

【 入居者の介護状況と介護度について 】

入居者のうち、64%の方が、自力での歩行不能となっている。食事では、全介助の必要な方 16%、入浴で全介助の方が 38%、排せつでは、38%の方が、オムツ等全介助となっている。

年度末の平均介護度は、男性 3.00、女性 3.60 計 3.53 で、前年の平均介護度 3.59 に対し、介護度が 0.06 下がっている。

【 入居者の入退居・入退院の状況について 】

平成 29 年度の入退居の状況は、入居者 10 名、退居者 10 名で推移した。入居者の入居前の状況は、併設の小規模多機能型居宅介護から 2 名、菊水苑より 1 名、自宅より 4 名、他施設より 3 名であった。

退居者の退居後の状況は、菊水苑へ 1 名、喜志菊水苑へ 1 名、残り 8 名は入院のため契約解除であった。

入院者数は、1 ヶ月の平均延べ人数は、0.2 名、1 ヶ月の平均延べ入院日数は 15.8 日、1 名あたりの平均入院日数は、38 日であった。

稼働率は、目標の 99.1% に対して、88.4% であった。

【 行事について 】

主な行事実施及び参加者については、別紙に記載しているとおりでである。内容は、基本的には特別養護老人ホームに順ずるものだが、フロアごとに、個別に食事を作ったり、外食に出かけたりしている。

☆小規模多機能型居宅介護

【 登録者数と介護度について 】

平成 29 年度の新規登録者数は 10 名で、廃止者数は 6 名となった。

新規利用者の利用前内訳は、同法人の居宅介護支援事業所からの紹介が 1 名、他法人の居宅介護支援事業所からの紹介が 1 名、同法人の特別養護老人ホーム相談員からの紹介が 3 名、在宅介護支援センターからの紹介が 3 名、病院の地域医療連携室からの紹介が 1 名、ご家族が直接相談に来られたのが 1 名の合計 10 名。廃止者の内訳は、長期入院の為に契約を解除した方が 1 名、同法人のグループホームに入居された方が 2 名、他法人のグループホームに入居された方が 1 名、サービスの利用の必要なくなった方が 2 名の合計 6 名であった。

年度末の平均介護度は、男性 1.84、女性 1.38 計 1.48 で、前年度末の平均介護度 1.77 に対し、介護度は 0.29 下がっている。

以上

☆菊水苑富田林ケアサポートセンター実績報告

【 居宅支援事業に関する報告 】

平成 29 年度月平均ケアプラン数は、介護 100.2 件、予防 43.0 件。認定調査は、月平均 21.6 件で推移している。売上に関しては、¥20,394,900-の予算に対して、¥21,450,587-の実績となっている。

以上